

熱中症・偶発性低体温症の疫学研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2017年8月2日～ 2025年3月31日

〔研究課題〕 環境因子による異常体温に関する疫学分析

〔研究目的〕 熱中症・偶発性低体温の予防から治療について、実態を解明・検討することを目的とします。

〔研究意義〕 熱中症や偶発性低体温は、重症化が予想される症例については、救命救急センターへの転送が必要になるので、重症度を迅速に評価するシステムが必要であり、そうしたシステムを構築するためには、予防から治療までの実態の解明・検討を行わなくてはなりません。

〔対象・研究方法〕 日本救急医学会が実施した Heatstroke STUDY や Hypothermia STUDY およびそれに準じる疫学調査のデータを日本救急医学会熱中症に関する委員会より提供を受けます。疫学データには、発生状況、重症度、患者背景、冷却法やその他の治療法、後遺症などの転帰に関するデータなどが含まれます。予後と冷却・復温時間、各種治療法、年齢や発生状況などの関係について、統計的手法を用いて検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部救急医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

データは匿名化した形で収集されていますので、個人が特定されることはありません。帝京大学で全国データを分析する際は、研究責任者が責任を持ってデータの管理を行います。データは研究目的以外に使用することはありません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。

〔その他〕 特にありません

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:救急医学講座 助手 神田 潤

研究分担者:救急医学講座 主任教授 坂本 哲也

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 33129]